

## 令和4年度外国語教育の取組み状況及び令和5年度の取組みについて

## 1 令和4年度の取組み

## (1) 市全体での取組み

## ①ALTによる授業支援

現在市内小中学校に9名(2校に1名)配置し、外国語の授業を支援。

※小高小中学校を除く

## ②英検受験料支援

中学1年生～3年生の英検受験(5級～3級以上)の受験料を支援(1回/年・人)

《受験率(11月現在)》

中1生: 4.2% 中2生: 16.7% 中3生: 60.2%

※中1生、中2生の多くは3月に受検する見込み。

※中3生は、令和3年度44.1% ⇒ 令和4年度60.2%

16.1ポイントアップ

※準2級以上の受験率 14.2%

## ③国内研修(ブリティッシュヒルズ研修(中学1年生全員) 日帰り)

ブリティッシュヒルズに行き、英語のレッスン及び英国文化体験

## ④その他(海外研修(中学2年生希望者))

外国文化を体験させ、広い視野を持った生徒を育成するため、海外研修を実施。

・令和元年度 : オーストラリアブリスベン 18名参加

・令和2年度 : 新型コロナの影響により中止

・令和3～4年度: 新型コロナの影響により、代替事業としてブリティッシュヒルズ宿泊研修を実施

## (2) 小高区での取組み(モデル事業)

## ①おだか認定こども園での取組み

○フォニックスの先行学習及び英語遊びの実施

年長児を中心にフォニックス教材を使用した先行学習及びALTによる英語遊びを実施(週1回程度)

## ②小高小学校での取組み

○フォニックスの実施

フォニックス教材を使用したモジュール(短時間学習)を全学年で実施(週2回)

○乗入れ授業の実施

小学3～4年生の外国語活動、小学5～6年生の外国語科の全授業に

中学校教員が乗り入れし、小学校教員と ALT と協力した授業を展開

○小学校 1～2 年生でも年 10 時間程度、英語学習の時間を確保し授業を実施

○ALT の単独配置

小高小中学校へはそれぞれ ALT を単独配置。外国語の授業だけでなく、他教科の授業等でも ALT を活用し、児童生徒の英語を話す機会を確保。

### ③小高中学校での取組み

ALL English 授業(英語の授業のほぼ全てを英語で行う授業)の実施。  
(中学 1 年生)

### ④外国語教育推進アドバイザーの派遣

首都圏を中心に英語塾を展開している「J PREP 代表 斉藤 淳氏」に外国語教育推進アドバイザーを依頼し、取組みに係る意見・アドバイスをいただいている。

## 2 令和 5 年度取組みについて

小高区で行っているフォニックス等の外国語教育モデル事業の取組みを今後市内全校に拡大するため、小高区の取組みの成果・課題を検証し、学齢に応じた can do リストやカリキュラムの作成等を行う。(他校への令和 6 年度の導入を想定)

また、外国語教育推進アドバイザーからの意見等を踏まえ、令和 4 年度の小高区での取組みに加えて、小高小学校において英検 jr の導入や英語多読用の書籍整備等を検討中。

《その他》

令和 5 年度より中学生海外研修事業の再開を検討中